



No. 961

2014・3・16

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三、四四五八
F 四三、四四五七

消費税増税凍結の請願

市議会 総務・文教委員会で採択されず!

継続審査になっていった「消費税増税の凍結を求める網走市民の会」の請願が7日、再度審議されました。審議に先立ち、平賀委員長の取り計らいもあり特例として「市民の会」代表幹事の小森一成氏の意見陳実が認められ発言がありました。

小森氏は「8%に引き上げられたら、市の経済は大打撃を受け、市民の暮らしが一段と逼迫する」「消費税は利益が上がらなくても納めなければならぬ。これ以上の増税となれば店をたたむしかない」「医療費の負担増、介護保険料の負担増、年金の切り下げなど、暮らしは大変になるばかり」など、市民各層の生の声を取り上げて採択を強く訴えました。

日本共産党の飯田議員は請願を採択し、市民の声を国に届けるべきとの賛成意見を述べましたが、他の委員から賛成の声は上がりませんでした。特に、夢みらい新風の近藤議員は国の財政難を理由に、採択に強く反対、公明の高橋議員は増税はやむを得ないと不採択を主張、拓進会の井戸、七々議員は継続審査を主張しました。

日本共産党市議団は、「地方議会の主要な役割の一つには、国の悪政の防

波堤となるということがあります。わたしたちは、市民の切実な声を国政に届け、市民の暮らしを守るため引き続きがんばります」と語っていました。

年金2.5%切り下げ反対の請願 生活・福祉委員会で採択!

全日本年金者組合網走支部の請願も継続審査となっていました。今回の再審査で採択され、年金生活者の声が国に届けられることになりました。

日本共産党の松浦議員の賛成意見に続き、金兵、空向議員も賛成。前回賛成しなかった山田(俊)、立崎議員も消極的ながら賛成し、請願採択となりました。



いっせ東奔西走

雪が少ない期待を裏切った先月の爆弾低気圧による「陸の孤島」になった暴風雪は、市街地の堆積した雪の除排雪作業を大幅に送らせました。

その後、順調に進んだかに見られていたが、先週に北海道を席卷した低気圧は再び市街地に雪の堆積をもたらし、市による除排雪作業は大幅に遅れています。知り合いの高齢者の方は

「今年は少ない雪ではとの期待は見事に裏切られた。市内でも車両が交差出来ない箇所が町中でも、住宅街でも数多く見られるし。個人で排雪を業者に依頼しても、2、3週間待ちとだそう。網走市は除雪に関してはおくやうなので、期待をもちた叱咤激励を市にしているが、高齢者などは腰を痛めて大変と言っている。今年は、どうしてこうなったのかなあ」とため息気味をついでいました。

天気は自然現象なので仕方ないと言ってしまうまでもありますが、一つの要因として、例年、流水まつり迄行っている市街地全域の除排雪は、「今年の一部の主要道路だけ行い、多くの地域はしなかったため、堆積が多くなり時間がかったのでは」との指摘があります。大いに参考にすべきではないかと思えます。

松浦奮戦も

東日本大震災から3年になりました。あの日、私は3月議会で予算審査特別委員会で質問中でしたが、委員長から地震の揺れが大きいので質問を止められ、暫時休憩となりました。揺れがおさまったので再開しました。次の質問者が質問中に、また地震で大きな揺れがあり休憩になりました。

これは、相当大きな地震が発生したのではないかとテレビを見てビックリ、この世の出来事なのかと思うようなゆるものが流されていきました。夢であってほしいという思いでしたが、現実には厳しいものでした。死者1万5884人、行方不明2633人、避難者26万7419人で、9万7000人の被災者がいまだに仮設住宅の暮らしを余儀なくされています。今も8割以上の被災者が仮設住宅を出る見通しが立たないことが分かりました。被災して半年後に気仙沼市に支援に行ってきましたが、1日も早い復興を願いばかりです。

流水

国民への説明も、国会審議もなく、閣議決定一つで憲法を変えようとする安倍首相、実は日本国憲法は「世界を平和にする原則だ」と私たちの知らな

い所で世界の人々から尊ばれ手本となっている▼その一つ南米の国エクアドルは2009年コレア首相は自国の新憲法を国民に提案した。条文の第5条には「平和の地エクアドルに外国の軍事基地の存在は許されない」とうたい、加えられたもう一条は「国際紛争解決のため武力による威嚇、または武力による行使はこれを拒否する」と日本国憲法をそのまま引用している▼エクアドルの新憲法の採択は国民投票で決められたが運動の中で「オリガミスタ」という市民団体が大きな力を発揮した。スペイン語で「折り紙を折る人」という意味だそう。日本の折り紙を広めるグループだ。折り紙を知らないエクアドルの人達にまづ鶴を折ってみせるそれも歳で被爆し、12歳で白血病で亡くなった広島の少女、サダコ物語を聞かせながら折っていくこと。新憲法を認め憲法にのっとり米軍基地を追い出した▼同じ南米のボリビア、ベネズエラでも「平和の地域である国に外国の軍事基地を設置することを認めない」という新憲法を決めている▼日本国憲法と折り紙に共通するものは日本が誇るべき歴史ある伝統。地球の反対側の南米の3つの国では9条を模範として取り入れている。なのに、安倍内閣は日本のあちこちに軍事基地を置き、憲法を変え戦争のできる国にしようとしている。許せんさん(ジャーナリスト伊藤千尋さんの文参考)